



★今年は親子で関根川探検★

遅い梅雨が明けて翌々日、夏の青空が広がる7月30日(土)。毎年好評の親子川遊び企画、今年は横須賀市の関根川にやってきました。講師は【横須賀「水と環境」研究会】の方です。まずは河口の久留和海岸へ。さっそく海にはいたり、貝や石を拾う子どもたち。ここの海岸の石や貝は波で洗われてきれいな形のものが多いんです。富士山もきれいに見えましたよ(^_^)



次に関根川の親水公園へ。そこで水着に着替え、網を片手に生きもの調査開始。岩のかけや川底の泥をすくうと、そこにたくさんの生きものが！アメンボ、ガガンボ・ハグロトンボのヤゴ、モクスガニ、テナガエビ、ヨシノボリ(魚)そしてホタルの幼虫も発見！講師の方いわく「水の汚れが気になる」川ということですが、ホタルの幼虫がいるということは、水がきれいな証拠ですね。

生きもの調査のあとは、生きものを川にリリースし、遊歩道組と、川の中を歩く組に分かれて川の上流へ。水はほどよい冷たさで、森の中の木陰も気持ちよく、たまに少しだけ深いところがあったり、滝登りがあったりで、冒険心も満たされます。子どもたちはいきいきと「川ハイキング」を楽しんでいました。調整池近辺で昼食をとったあとは、数人で関の渡り川の

木道も散策しました。

帰り道は、おいしいと評判の湧水「関根不動」に立ち寄り、トンネルを通過、立石海岸でゴール！余力のある方は、解散後に磯遊びも楽しんだことでしょう。今回探検した関根川の親水公園、横須賀市民の方々も知らなかったという穴場スポット！おいしい湧水を汲むこともでき、蝉しぐれ、鳥のさえずり、川のせせらぎに癒された1日でした。この清流を未来に残すためにも、せっけんを利用するなど、環境負荷の少ないライフスタイルを心掛けたいですね。(AK)



★プチボランティア 絵本翻訳シート貼りパート2★

6月21日(火)、前月の横浜中エリア主催の「プチボランティア絵本シート貼り」に参加した横須賀エリアの組合員3名を招いての開催。あいにくの天気でしたが、赤ちゃん連れで全員参加され、絵本のシート貼りの作業を行いながら、子育てトークも大いに盛り上がりました。作業のあとは、横須賀エリアおすすめ商品の『産直たまご』を使った試食タイムで、冷凍卵をはさんだ「おにぎらず」と余りの卵白で作ったコーン鶏がらスープは、参加者から好評でした。そして、今回の参加者のうち、2名で大船エリア中心の地区くらぶが誕生し、新しい仲間が増えました。(CN2)



横須賀市消費生活センター主催 食のセミナー

★「テレビでは話せない食品安全のうら話」★

7月19日(火)、横須賀市総合福祉会館にて、テレビでもおなじみ食品表示アドバイザーの垣田達哉氏を招いての食のセミナーの講座があり、横須賀市生協運営協議会の紹介で参加してきました。テレビでは商品のイメージダウンにつながるような内容はあまり発言できないということで、本当にテレビでは話せないような内容をたっぷり2時間お聞かせくださいました。機能性表示食品は国の審査がないので、健康食品では健康にはなれない。誰かによいからといって、あなたによいとは限らない。エサに添加物を使っても表示義務はない。などなど…たくさんの「そうなの?!」を知って帰りました。テレビを信じるのではなく、自ら学んでいかないと、自分や家族の身は守れないなと感じました。(CF)

いつも大変お世話になります。横須賀センター長の大窪悠介(おおくぼゆうすけ)です。パルシステムでは国内資源循環と廃棄物の削減をすすめるために、組合員とともに容器包装のリユース(再使用)・リサイクル(再生利用)活動を展開しています。横須賀センターではリユースびんの回収を強化しています。ご協力よろしくお願いいたします。

【よくあるご質問】

Q：リユースびんの紙ラベルはとらなくていいの？

A：洗浄工程できれいにはがせます。

※紙ラベルは洗浄工程でとれるようになっています。キズがついたりするとリユースができなくなってしまうので、そのまま出してください。

編集後記：暑さがひと段落し、レジャーに最適な季節がやってきました。秋のハイキングに関根川はいかがですか？(AK)

びん返してキャンペーン

リユースびん1本返却につき3ポイントプレゼント!

返却対象期間：8月29日(月)～10月21日(金)
対象のびん：すべてのパルシステムリユースびん

＜参加方法＞ 注文用紙に6桁番号と返却した本数を記入し、リユースびんを返却してください。

＜6桁番号＞ 106003

※6桁注文番号を記入し忘れた場合は、ポイントが付きませんのでご注意ください。



大窪センター長のおつぎやま



このマークがあるびんは、生協に返してね!

★ 7月リユースびん回収率★

供給量：5,680本 回収量：2,930本 回収率51.6%